

兵庫県議会議員

県政報告

編集・発行：五島壮一郎事務所
電話：079-239-5841
FAX：079-236-2282
mail：info@s-goto.com
HP：http://www.s-goto.com
http://www.facebook.com/goto.soichiro.510

暑さが厳しさを増し、朱夏と呼ぶにふさわしい陽射しが降り注ぐ季節となりました。姫路市の皆さまには、ご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

4月の統一選では、平成の時代を締めくくる最後の舞台として、これまで取り組んできた防災・減災対策や観光振興、子育て環境の整備、医療福祉の充実などの成果を説明し、引き続き、気を緩めることなく全力傾注していくことを訴え、地域を代表する一人として再び兵庫県議会に臨めることになりました。

「すこやか兵庫」めざし全力疾走

さて、いよいよ新元号「令和」の時代が始まりました。日本最古の歌集「万葉集」から取られ、安倍首相が「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ意味が込められている」と強調するように、平和が続く、薫り高い文化が花開く時代になってほしいと切望している次第です。

6月から新任期がスタートし、自民党県議団の副幹事長という要職を担うことになりました。職責を全うすべく日々追究し、井戸知事はじめ県当局とともに「すこやか兵庫」をめざして全力疾走する意気込みです。

地元姫路市では今年、明治22年に市制を施



第343回定例会で一般質問に登壇。7つの課題で対策を求めました(詳細は裏面に掲載)

姫路市制130周年 姫路港開港60周年 時代の節目に決意新た

行して130周年を迎えるとともに、姫路城の世界遺産登録25周年、姫路港開港60周年にもあたります。

この大きな節目に、市では新たな総合計画を策定していく方針で、ふるさと姫路にゆかりのある一人ひとりが一層愛着を醸成し、歴史と文化の都としてさらに発展していく一助を担いたいと決意している所存です。

五国の多様性生かして新時代を

一方、今年は兵庫県にとって、ポスト県政150周年のスタートの年です。これから拓かれる新時代は、平成時代の残された課題である「デフレ経済からの脱却」「自然災害への備え」「少子高齢化社会への対応」「東京一極集中の是正」の解消に取り組みまなければなりません。さらに、昨年にとりまとめた「兵庫2030年の展望」を具体化するため、11の将来像に向けたリーディングプロジェクトを設定し実践することになっています。

五国の多様性を生かし、世界につながる新時代の兵庫を実現するため、「現場・現物・現実」の三現主義で引き続き地域課題にしっかりと目を配り、歩むべき道を見定めながら姫路市民の願いに応えていくことをお誓いし、あいさつとさせていただきます。

五島 壮一郎のプロフィール

- H12.3 姫路市立広畑小・中学校
 - H15.3 兵庫県立姫路東高等学校卒業
 - H19.3 岡山大学工学部卒業
 - H19.4 電子機器メーカー勤務
 - H27.6 兵庫県議会議員(1期目)
 - H29.6 農政環境常任委員会 副委員長
 - R 1.6 兵庫県議会議員(2期目)
- (現在の代表的な肩書き)
(一社)兵庫県水質保全センター特別顧問、専門学校理事、兵庫県早朝野球連盟会長、吟道楯楠流姫路地区連合会相談役、兵庫県相撲連盟顧問、自由民主党兵庫県第11選挙区支部青年部長、壮新会代表

自民党県議団 副幹事長に就任しました!

令和元年6月にスタートした新議会から、自民党県議団執行部の一員として、副幹事長の職を拝命しました。自民党県議団の長である幹事長を支え、議員団の意見とりまとめや県民・団

体からの要望・申し入れ窓口となり、政策決定につなげていく役割で、重責を感じつつも一生懸命に励んでいく意気込みです。また、委員会は建設常任委員会に所属しました。



姫路競馬場内に整備された船場川の洪水調節池。25haプール約400個分という県下最大の規模で、平常時にはサッカー場として利用できます

県下最大の規模に

船場川洪水防ぐ「調節池」完成

プール 400 個分、平時はサッカー場に

姫路競馬場内

台風などによる大雨の際、船場川に流れる水を一時的に貯留する「洪水調節池」が、姫路市広峰の姫路競馬場内に整備され、このほど完成式が開かれました。

船場川の上流域では平成16年10月の台風23号により、競馬場周辺の市街地で約180戸の家屋が浸水するなど洪水被害が発生しましたが、住宅などが密集して河川の拡幅が難しいという課題が生じていました。

このため平成21年度から、競馬場内に河川からの水を流し込む調節池の工事に着手。25haプール約400個分となる県下最大規模で、平常時には多目的グラウンドに利用してもらおうと人工芝のサッカー場も整備しました。

播磨臨海地域道路

神戸市西区と太子町までの約50キロを結ぶ「播磨臨海地域道路」の実現をめざす整備促進大会が5月、加古川市民会館で開かれ、早期着手に向けた国への要望書を取りまとめました。

播磨臨海地域は企業の工場が集積するものづくり拠点ですが、東西交通の要となる加古川バイパス（国道2号バイパス）は設計容量の2倍となる10万台超の交通量となり、慢性的な渋滞で物流機能の低下を招

早期実現へ要望 今夏にルート案も

最後は、はりまの成長を長らくして日本の成長な



播磨臨海地域道路の早期着手に向けて参加者全員で決議を採択しました

し、播磨の地域創生が日本の経済成長を力強く牽引することを明記した決議を参加者全員で採択し、道路の早期実現に氣勢をあげました。

いています。

同道路は昨年7月、計画段階評価の第2回近畿地方小委員会が開かれ、複数の概略ルート案が検討されています。同大会に出席した国土交通省の道路局長は今夏までに案を公表することを明らかにしました。

また、井戸兵庫県知事や清元姫路市長らも出席し、地域の大きな発展につながる同道路の必要性を訴えました。

第343回
定例会
一般質問

7項目で対策求める

今年2月から3月にかけて開かれた第343回定例会県議会で、県当局に取り組みをうながす一般質問に立ちました。

内容は、河川の氾濫対策や地場産業である皮革産業の振興支援、介護職員の負担軽減策など7項目です。主な内容と県側の答弁の概要を紹介し

ひょうごレザーのブランド力向上へ

【質問】

ひょうごレザーは姫路市やたつの市などを中心に発展し、出荷額は全国1位を誇っている。しかし安い海外製品に勝つためには品質を重要視し、さらなるブランド力の向上に取り組む必要がある。

【井戸知事】

県立工業技術センターで高機能革の開発を行うほか、鹿やイノシシの皮を活用した新商品開発、若手タンナーの交流活動や新事業展開の支援に取り組む。



河川計画区間外の洪水リスク減らせ

【質問】

河川整備計画に位置づけられていない区間で、樹木が生い茂ることなどで出水時に河川水位が上がって洪水リスクが高まっている箇所がある。夢前川流域の住民からも不安の声を聞いており、こうした箇所

【県技監】

氾濫危険性の高い夢前川の姫路市飾磨区山崎付近など93カ所でネック部対策などを、広畑区東夢前台などで護岸損壊の恐れがある80カ所でブロック設置などを行う、治水安全度を高める。



訪日外国人への食の観光戦略必要

【質問】

食の観光戦略として、訪日外国人が自ら判断でき、安心して日本食を楽しむことができる食のバリエーションの推進が急務。企業や地域団体等と連携し、県内全域で宗教的、文化的に不便を感じることなく、安心して観光や食事ができるような対策を進めるべきだ。

【井戸知事】

雪とカニ、うずしお観光と淡路の食など、観光と食をセットにしたプログラムの創出を促す。また、イスラム教徒の戒律に従ったハラール対応の食事ができるレストラン等の情報提供や事業者向けセミナーも行っていく。



介護負担軽減でノーリフティングケアを

【質問】

介護職員の負担を軽減するため、人を持ち上げたり抱えたりしない介護、すなわちノーリフティングケアを一層推進すべきだ。

【井戸知事】

ノーリフティングケアの有用性や介護ロボットの活用の周知を図り、研修や技術普及に努める。



姫路競馬場を大災害の防災拠点に

【質問】

今年度、姫路競馬場で7年ぶりとなるレース開催に期待を寄せるとともに、スポーツや遊び場としての利活用で賑わいが創出されることに期待している。そこで京都競馬場の花火大会のように、夜間イベントの開催などで新たなファンの獲得をめざしてはどうか。

【企画県民部長】

園田競馬アイドルユニットなどタレントによる夜間イベントを開催し、一層のファン獲得をめざす。また、今回に整備した人工芝のサッカー場でサッカーやフットサルなど地域スポーツの拠点として活用を図る。



また、姫路競馬場を大災害に備える防災拠点とし、関係機関に防災協定の締結を働きかけることを提案する。

【防災監】

競馬場を防災拠点にすることは有意義で、自衛隊など関係機関の意向を確認し前向きに検討する。

新任期で最初の議会スタート

高齢運転者の事故防止で意見書も

県議会議員の新しい任期が6月11日にスタート、25日にかけて第344回定例会県議会が開かれました。可決議案は13件で意見書

は6件。その一つが、高齢運転者の重大事故多発を受け、ペダル踏み間違い時の加速抑制装置の普及などを国に求めています。